

## 第 11 回 寄附講義

6 月 26 日

テーマ：大分県の地域振興施策

講師：大分県企業局長 岡本天津男さん（大 32 回）

大分県庁で大学誘致、企業誘致、観光振興に携わり、本年 5 月まで企画振興部長も勤められた岡本さんが、地方公共団体としての県の役割、産業施策について講義。

### 1 産業振興

- ・ 新産業都市、テクノポリス計画、ダイハツ進出等の企業誘致に寄り発展してきた大分県の製造業。
- ・ 2003 年以降の企業誘致だけでも 18,562 人の雇用創出。
- ・ ダイハツの進出に伴い一次下請けメーカーも多数進出。地場企業の取引拡大。中津地域の人口効果も大きかった。



### 2 観光振興

- ・ 外国人宿泊客が急増。平成 29 年には 18.6% を占めた。
- ・ 一人当たり旅行消費額はアジア諸国（中国を除く）に比べ欧米各国は 2 倍以上多い。これからは欧米豪からの観光客誘致にも力を入れる。

- ・ラグビーワールドカップ開催は欧米豪観光客の認知度を上げるチャンス。
- ・大分空港は九州各県の空港の中で唯一、国際航空路線が1航路しかない。
- ・東九州新幹線が整備されればジャパンレールパスを利用する外国人のアクセスが向上。



### 3 地域振興

- ・少子高齢化の進行で人口の50%以上が高齢者の小規模集落が増加する。
- ・県外からの移住者が増加している。H26年度年292人→H30年度1,128人。
- ・移住受け入れ促進の担当部署を設けて力を入れた市町村では劇的に増加。
- ・地域おこし協力隊員が地域の力になっている。

#### ○ 最後に PR

大分県庁は  
風通しの良い職場  
上下に関係なく議論できる風土

働き甲斐のある職場